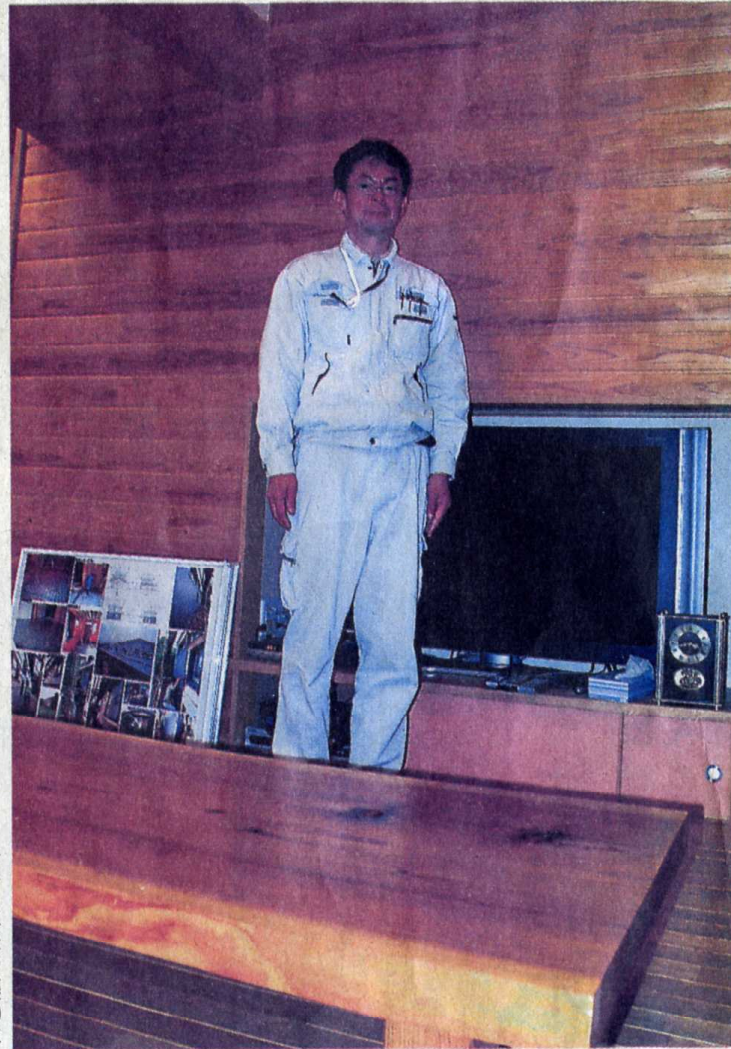


ソーラーハウスを普及させようと稲城市押立の高田工務店が21、28の両日、ソーラーハウスを巡るツアーを企画した。住宅建築が本業ながら、社長の高田良晃さん(48)は長年、重いシックハウス症候群に悩まされてきた。克服するため家作りを根本から見直し、自然素材を使うソーラーハウスにたどり着いた。「環境にも体にも優しいソーラーハウスの魅力を体験してほしい」と話す。【堀智行】

ソーラーハウス巡るツアー

21、28日 稲城の工務店企画

自然素材の魅力感じて



木のぬくもりが感じられる高田社長の自宅—稲城市で

シックハウス症候群 克服の社長が研究

大学2年の時、初めから見直そう」。退院で室温を保つ方法はな
てシックハウス症候群後、自然の樹木を生かいか」。思いついたの
の症状が出た。突然、した家作りの研究に取りが大学で学んだソーラ
自宅で意識を失い入りかかった。ーシステムだった。

高田社長の築40年の
自宅も07年に改築。国
産の樹木をふんだんに
使った住宅で暮らし始
めたから、シックハウ
ス症候群の症状に悩ま
されることもなくなっ
たという。

院。ゼネコンに就職し 自然素材は体にいい
たが、仕事中に2回転 一方で、湿気が多く、
倒し、やむなく退職し 寒暖の差が大きい日本
た。84年に家業を継い では、割れやすく腐り
でからも片頭痛と吐き やすいという欠点もあ
気に悩まされ、何度か った。またシックハウ
入院した。 ス症候群は狭い部屋に

今回のソーラーツア
ーでは、高田社長の自
宅のほか、これまでに
施工した川崎市や多摩
市のソーラーハウスを
案内する。参加無料。

90年の入院中に1冊 いる時に出やすかった
の本を手にした。自然 が、部屋を広くすれば
素材を用いるドイツの 暖房費がかさむ。「吹
住宅建築が紹介されて き抜けて広い空間を確
いた。「家作りを根本 保しながら、低コスト
りからソーラーハウス作
りに乗り出した。

両日とも午後0時半に
高田工務店(042・
377・5359)集
合。

「東京賢治の学校」初の巣立ち

市野崎町
表)を単
年生の5
川市錦町
立川で、
プリマド
する。01
初の卒業
治の思想
た独自の
きた。一
ことを表